

ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園 千日紅

記念日

小森 公美
2021年 11月 12日

今月は30日で終わりなのか、あるいは31日まである月なのか、、、色々な覚え方があると思います。私は西向く侍 2、4、6、9、11で覚えました。11月は十と一の漢数字を組み合わせて土になりますので、武士=サムライとなります。

日本の記念日の中にはこの漢数字の組み合わせで読める土、11月11日を記念日としたサムライの日があるようです。着物文化の継承と普及を促進する事を目的とした記念日だそうです。

日本記念日協会によると、この11月11日は10月10日と並んで記念日登録が54件もあり、今、最も多い日との事です。同じ理由と思われる鮭の日、や豚の鼻に見える事から豚饅の日、きりたんぼの日やポッキー&ブリッツの日、立ち飲みの日という記念日もあるようです。

何気なく過ごしている日々も誰かの何かの記念日なのだなと思いました。



写真=スペシャルメニュー (10月28日)
メンチカツ&カニクリームコロッケ、車麩の煮物、ポテトサラダ、カスタードプリン、味噌汁(豆腐・青ネギ)



写真=ご希望のパンが大きすぎて周囲から止められている様子 (2021年11月13日)

お米よりもパン！

石井 太一
2021年 11月 13日

長年、県内の地域住民に愛されている移動パン屋さんの「エッセン」。毎週土曜日はホームの正面玄関前に移動販売車やってくる日です。お昼過ぎの13時になるとご入居様がスタッフと共にトラックの前に並び、ご自身が購入する順番を今か今かと心待ちにしています。

最近ではテレビ番組でも取り上げられたエッセンの魅力は、地域密着型の移動販売であり、いつもの時間、いつもの場所にやってくる事です。多種多様な種類の焼きたてパンを取り揃え、ご入居様のニーズに合わせた買い物が出来る事で生活の中の「お楽しみ」となっています。エッセンのスタッフさんは、ご入居様と直接の会話を通してニーズを把握されており、「いつもの〇〇パンごぞいますよ」「甘いパンでしたら〇〇パンはいかがでしょう」等デマンドサイドに応じたサポートをさせていただきます。パン屋さんとの週1回の顔合わせは地域における信頼関係の構築にも繋がっています。また、エッセンは焼きたてパンを直接目で確かめ、感じて選ぶ事が出来る為、ホームでは欠かす事の出来ない言わば『買い物サポーター』となっております。

また、共に生活を送るご入居者様方のコミュニティともなっており「今日は何買ったの?」「どのパンがおいしい?」「〇〇さん今日はパン屋さん行きました?」等、マスクを着用した上での情報交換や日常会話が活性化しています。可能な限りで、ご入居者様間の顔合わせ機会の増加が図れ、支え合いの輪である「ロイヤルホームコミュニティ」が生まれています。

エッセンを利用されているご入居者の皆様にお話しを伺った所、小倉あんぱん(つぶあん)が絶大の人気を誇っていました。甘さ控えめで北海道小豆を使用した優しい食感で、手軽に召し上げられる事が人気の要因でした。時には売り切れる事もある様です。

日よっての体調変化に伴い、食欲が優れない方や、ご自身で物事を選択する機会が減少している方も「パンだったら食べたいな」「やっぱりこのパンが食べたいな」等、「パンのアラカルト」でご本人様の意思決定を尊重し支援する機会ともなっています。

今後の地域共生社会において、皆様が共に支え合い誰ひとり取り残さないコミュニティを創出していく事が我が国と地域の課題ではないでしょうか。その小さな第一歩として、これからも美味しいパンを食べて、皆様と共に楽しい会話をしていきましょう。

今月のトピック

昼食の時間です。

委員会活動報告(サポート委員会)

スタッフ紹介

おしらせ

昼食の時間です。

岡 聖史
2021年 11月 11日

介護予防事業には5つの目標があるそうです。運動機能の維持向上、口腔機能の維持向上、社会的孤立の回避、うつ予防、そして栄養状態の維持向上です。栄養は健康長寿を実現するためには欠かせない要素であり、その摂取手段としての食事は一日の活動の中でも極めて重要かつ大変なものとなっています。そこで今回は、ご入居者様の食事の様子をお伝えいたします。

ロイヤルホームでの昼食の準備は11:15頃から始まります。お手洗いを済ませた方、ベッドから離床された方、リハビリから戻られた方等、食事のテーブルに付き始めます。すると昼食用のお茶がテーブルに運ばれてきます。ご入居者様は、「ありがとう」、「まだ暑いわね」とスタッフと変わらないやり取りをされているのを耳にします。そうこうしていると介護士が「手を失礼します」と言って、アルコール擦拭をご入居者様の手に塗り込んで回ります。一方、別の場所では、「血糖のチェックをさせてください」と看護師の声も聞こえてきます。この他、エプロンを用意、薬を内服し易くするゼリーの準備、お菓子の準備等が行われていました。

11:45頃に食事が運ばれると、食事がスタートです。介助が必要な方には介護士や看護師が介助に付きまします。「お腹すきました?」とスタッフが尋ねると、ゆっくりと頷かれるご入居者様がいらっしゃいます。ご自身のペースで摂取されます。そうこうしていると、「こんにちは、お食事中に失礼します」と栄養管理委員会のラウンドが来まします。

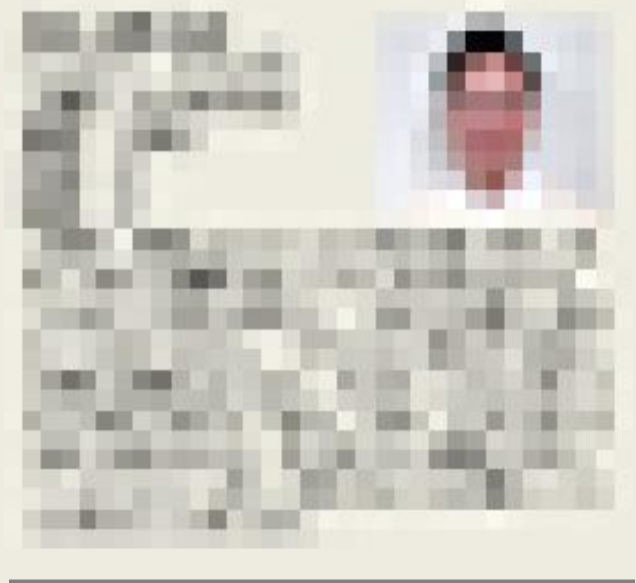
ご入居者様の姿勢・車椅子の調整や補助栄養の検討がなされます。こうしてあっという間に1時間が経過し12:45には概ねお薬も内服し終わります。すると「疲れた」、「横になりたい」と直接訴えるご入居者様や、目で訴える方も少なくありません。しかし、センサーコール・スタッフコールが鳴りだします。「少々おまちいただけますか」という声掛けが多くなります。スタッフの足音が激しくなります。「おまたせしました」と介護士がご入居者様に声掛けをして、口腔ケア、トイレのためご自身のお部屋へ帰られました。



写真：昼食時のラウンドの一場面(11月16日)

スタッフ紹介

2021年11月1日



振り返り

岡 聖史
2021年 11月 7日

緊急事態宣言が解除され、ロイヤルホームでは面会制限の一部解除を開始しています。感染者数はあつという間に減り、現在は20名前後で推移しています。10/31のハロウィンは大きな問題もなく、当初警戒されていた程ではなかったとの報道を耳にしました。コロナ禍の人々の行動を急に切り替えるのは難しいようです。心理学ではsetという概念があり、人間は特定の考えや行動をしばらく繰り返すと他へ転換しにくくなるという特徴があるようです。これを打開する機能が柔軟性といわれる切り替えのスイッチに該当する機能です。このスイッチは年々固くなるようですので、油をさす必要があります。私は「なるほど」と口にするのを油としています。皆さんはいかがでしょう。

お知らせ

小田急デパ地下レクがcaえってきます。2020年8月に開催し、大好評だったので、再度計画いたしました。Skypeにて小田急デパートとロイヤルホームを繋ぎ、その場でオーダーすることができます。今回は11月中旬に予定しています。夕食時にはオーダーしたものが食べられるのが楽しみです。ただし、コロナの状況では中止となることもありますので、ご理解の程宜しくお願いいたします。

<https://www.odakyu-dept.co.jp/machida/index.html>



委員会活動報告（サポート委員会）

岡 聖史
2021年 11月 2日

サポート委員会では、年間のイベント活動、日レクリエーション、広報の発行を主として活動しています。コロナ禍により、年間のイベント活動は皆無に等しい状況が続いています。2020年は、

夏の納涼祭風レクとクリスマスレクの2つのみでした。2021年は上記二つに加えて11月に小田急デパ地下お買い物レクをオンラインにて予定しています。これは、去年の納涼祭風レクの一部でした。ご好評につき、今年は別枠で設けました。

レクリエーションについては専任介護士が主

導となっていますが、委員会として「〇〇を取り入れてほしい」と依頼することがあります。また、レクリエーションへの参加率やレクリエーションの開催頻度、1回の時間等も算出し、年間の目標としています。これらの背景には国が掲げている介護予防事業の目標があり、社会的孤立の防止や、認知機能の維持、精神機能の維持です。ロイヤルのサービスが適切に提供できるよう努めてまいります。